

## 木曽三川と生きる。命をつなぐための「新しい選択」

## ～「避難指示」の前に動く。自らの判断で命を守る～

- 巨大台風が木曽三川下流部に接近した場合、高潮や洪水により広範囲かつ長期にわたる浸水が生じる恐れがある。このため、自らの判断で広域避難を行う「新しい選択」について、地域住民と共に考えることを目的として、シンポジウムを開催した。
- 東京大学大学院・片田敏孝特任教授からは全国で頻発する大規模水害を踏まえたわが国の防災対策の変化を、語り部の伊藤様からはご自身の伊勢湾台風の経験や当時の被害を踏まえ、自らの判断で広域避難することの重要性をご講演いただいた。
- 地域の市町村長8名（弥富市、蟹江町は副市町長が代理）からは、各自治体で取り組む広域避難体制の整備や住民の防災意識の向上に向けた啓発活動等をご紹介いただき、住民へのメッセージを語っていただいた。

日時：令和8年1月17日(土) 14時30分～16時45分

会場：柿安シティホール 小ホール（桑名市民会館）

来場者：約 190 人（※関係機関含む）

講演内容：

○特別講演：「わが国の防災行政における広域避難問題の現在」

講師 東京大学大学院 片田 敏孝 特任教授

○伊勢湾台風伝承：「伊勢湾台風を経験して伝えたいこと」

語り部 伊勢湾台風のつどい 伊藤 清文 様

○自治体コメント：海拔ゼロメートル地帯における広域避難を  
テーマに地域の8市町村の取り組みや思いを発表

登 壇 者：桑名市長、木曽岬町長、飛島村長、津島市長、  
愛西市長、海津市長、弥富副市長、蟹江副町長、  
木曽川下流河川事務所長

東京大学大学院 片田 敏孝 特任教授

東京大学 加藤 孝明 教授

